

株主のみなさまへ

第51期第2四半期 営業のご報告

2011年4月1日～2011年9月30日

- 2 | 社長メッセージ
- 6 | 事業別のご報告
- 8 | 特集：2大展示会レポート
- 10 | 海外拠点からの手紙
- 12 | 連結財務諸表
- 14 | 会社概要
- 15 | 株式概要





経済環境の悪化を受け、減収減益となりました。 多様化する世界市場を視野に 業績回復に取り組みます。

代表取締役社長 島 正博

Q 上半期(2011年4月～9月)の業績について説明してください。

A 世界的な景気停滞と急激な円高の進行により、売上・利益とも苦戦しました。

上半期の世界経済は、米国における雇用問題の悪化や欧州での経済不安の広がりなど、全体として不透明な状況が続きました。こうした中、ニット業界では第2四半期に入ると欧米のアパレルから生産地へのオーダーが減少し、特に主力市場である中国においては、金融引き締め政策の影響も加わって設備投資が減退しました。当社においても、第1四半期はコンピュータ横編機SSR®の販売が堅調でしたが、第2四半期以降、市場環境の急速な悪化を受けて販売が低迷しました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は234億46百万円(前年同期比6.9%減)となりました。利益面では、コストダウンや経費削減に努めたものの、円高や厳しい競合による販売価格の下落により売上総利益率が低下したことで、営業利益は22億64百万円(同53.2%減)となりました。また、急激な円高により営業外費用で為替差損を計上したことから、経常損失は10億34百万円(前年

同期は経常利益12億85百万円)、四半期純損失は7億91百万円(前年同期は純利益7億49百万円)となりました。

Q ニット産業の現状について説明してください。

A 中国への「一極集中構造」から多様化へ。新たなビジネスの模索が始まっています。

世界のニット産業では「中国への一極集中」という従来の構造から、国や地域ごとの「多様なニーズの顕在化」という大きな潮流変化が起こっています。人件費高騰や原料費の値上がり、若年労働力不足の問題などから中国一国での大量生産を見直す動きが広がり、周辺のアジア諸国や東欧、トルコなどへの生産シフトが進んでいます。一方、欧州のニット業界においても消費地ならではの新しいビジネスモデルを模索し始めており、設備投資意欲が徐々に回復しています。

こうした多様化は、幅広いニーズに応える製品群・ノウハウを持つ当社にとって有利な変化と言えます。個別ニーズへの対応を今後さらに推進し、業界のリーダーとして世界中のニット・アパレル産業の活性化に貢献していきたいと考えています。



1964年
全自動手袋編機を開発

企業理念

Ever Onward

—— 限りなき前進

当社は、「手袋編機の全自動化」という難課題に対応するため、現社長・島正博によって1962年に設立されました。技術にこだわり「最高機能の製品を経済的な価格で提供する」という当社の企業スピリットは、今日まで連綿と引き継がれています。

創業以降、時代のニーズを先取りした横編機やデザインシステムを次々と開発し、世界のトップメーカーへと成長。90年代には、「産業革命に匹敵する」と評された完全無縫製型の「ホールガーメント[®]横編機」の開発に成功しました。

これからも、新たな技術開発へのチャレンジを続けながら、“トータルファッションシステム”を活用した企画提案型のビジネスモデルの浸透を図ることで、ユーザー業界の発展に貢献していきます。



先進国に向けた提案について説明してください。



「企画提案型ビジネス」の確立に向け、顧客企業の変革を支援していきます。

中国などからの輸入品の攻勢を受け、縮小傾向にあった先進国のニット産業では、魅力ある商品を生み出す消費地型のモノづくりのあり方が求められており、当社では「企画提案型ビジネス」を積極的に提唱しています。

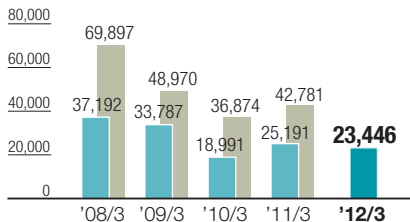
ニット製品は、素材・色・シルエット・縫製などの「商品

企画」を決めるために多くのサンプルが不可欠であり、実物サンプルの制作に多大な時間とコストを費やしています。デザインシステム「SDS[®]-ONE APEX3」は、これらの問題を根本的に解決する製品で、糸の質感や着用時の重力の影響も再現するバーチャルサンプルが“桁違い”に短い時間で作成できます。また、現物サンプルを作らずに画面上でシミュレーション・検討できるため、コストをかけず、消費者ニーズに応じた魅力ある商品企画や提案が可能となります。

私自らもトップセールスを実践する中、今年9月には

売上高

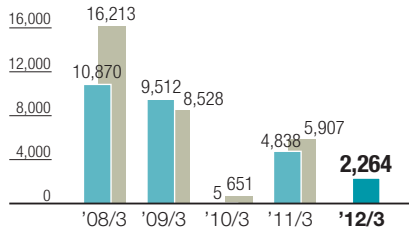
(百万円)



■ 第2四半期累計 ■ 通期

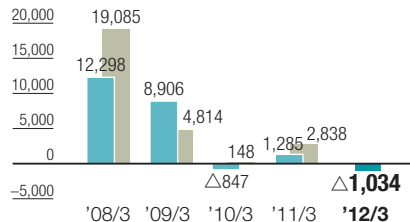
営業利益

(百万円)



経常利益・損失(△)

(百万円)



将来の見通しについて

本報告書に記載されている将来に関する予測については、現在入手可能な情報から得られた当社経営者の判断に基づいて行った予測であり、実際の業績は、さまざまな要素により、これらの予測とは異なる結果となる場合があることをご承知おきください。

社長メッセージ



上海テックス 2011



ITMA 2011



SDS-ONE APEX3のデモンストレーション

欧州の顧客企業を訪問し、こうした「企画提案型」のモノづくりを直接、提案させていただき、多くの理解を得ることができました。

Q 新興国市場での今後の取り組みについて説明してください。

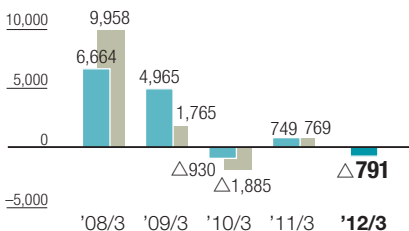
A それぞれの地域特性を分析して状況に応じた最適な提案営業を進めます。

新興国の多くは中国に比べてまだ小さな市場ですが、「一極集中」の構造が変わる中、さらなる発展の可能性を秘めており、当社は各地域・国の状況に応じた提案営業を推進していきます。例えばBRICsの中でも特に注目しているブラジルは内需型

の国で、経済成長を背景にニット需要が伸びるとともにファッション志向も高まっているため、ホールゲーム横編機など高級機種種の販売に注力します(p.10~11参照)。また東欧諸国は欧州向けニット製品の生産拠点として存在感を高めており、サービス体制を再整備して対応を強化していきます。

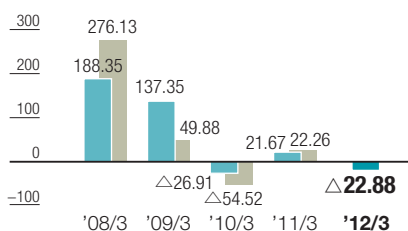
アジア地域では、中国からの生産シフトが進むカンボジア、バングラデシュ、インドネシアなどが新たな重点市場と考えています。また、中国は依然、重要な市場であり、市場ニーズに対応した戦略機SSRによってシェア拡大を図るとともに、上海テックスで浸透させた製品力・ブランド力を、今後の高付加価値機種種への展開に活かしていきます。

四半期(当期)純利益・損失(△) (百万円)

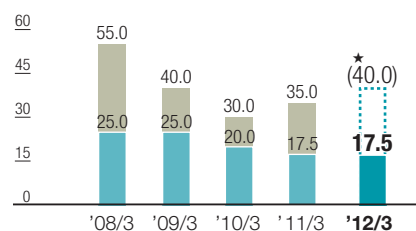


■ 第2四半期累計 ■ 通期

1株当たり四半期(当期)純利益・損失(△) (円)



1株当たり配当金 (円)



★創立50周年記念配当5円を含む

組立工場を新たに建設

ホールゲーム横編機の世界的な需要拡大を見込み、当社は本社敷地内に専用の組立工場の建設を進めています。従来型機種と製造工程が異なるホールゲーム横編機のラインを独立させ、高品質かつ高効率な生産体制の構築を実現していきます。



新工場建設予定地



Q 今後に向けての施策は何でしょうか。

A 上半期の取り組みを着実に実績へと結びつけていきます。

当期に出展した上海テックスやITMA展(p.8~9参照)で得た顧客からの高い評価を実績につなげるべく、12月以降の設備の需要期に向けてフォロー営業を展開しています。先進国市場では、10~11月にイタリア各地で個展を開催し「企画提案型ビジネス」の提案を強化することで、ITMA展での引き合いを成果へと結びつけていきます。新興国市場でも、従来のOEM中心から「企画提案型」を目指す企業が現れてきており、そうした企業に高付加価値機種を提案していきます。このほか、世界標準機としてSSRの販促に努めるとともに、デザインシステム「SDS-ONE APEX3」については、ニット業界のみならず、異業種を含めてさらなる拡販に注力します。

通期連結業績は期初計画を見直し、売上高460億円、営業利益45億円、経常利益15億円、当期純利益10億円を見込んでいます(1ドル77円、1ユーロ103円を想定)。また年間配当金は期初の発表通り、1株につき40円(中間配当金17円50銭・期末配当金22円50銭)を予定しています。

Q 最後に「モノづくり」への想いを聞かせてください。

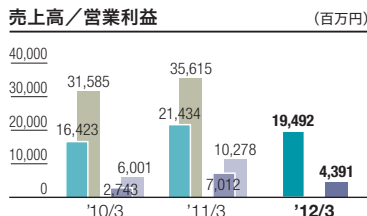
A 創造性あるモノづくりで日本を元気にし持続的な成長を目指していきます。

戦後の日本経済の躍進は、創造性を持った人々による質の高い「モノづくり」に支えられてきました。当社が目指すのも、そのような創造性あふれるモノづくり企業です。「急激な円高の中で、なぜ国内生産にこだわるのか」という声もありますが、長期的な視点に立てばそこには大きなメリットがあります。海外生産や生産委託には、当社で培われてきた独自の技術ノウハウの流出リスクがあります。また、世界の多様なニーズに応える当社の横編機は、機種・ゲージ・カム数などの違いを含めると数百種類にも上ります。こうした多品種生産は、研究開発から部品生産、組み立てまで一貫して日本で担っているからこそ可能となります。

当社は「Ever Onward=限りなき前進」の経営理念のもと、これからも自社での研究開発を行うモノづくり企業としてさらなる成長を目指してまいりますので、株主の皆様には、今後も中長期的な視点から当社グループの成果に注目いただき、一層のご支援をお願いいたします。



横編機事業



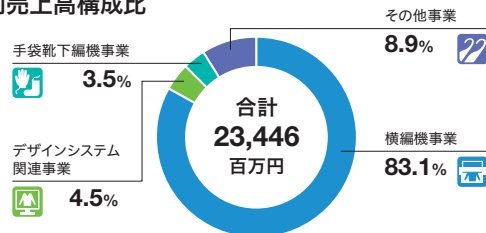
世界トップの技術力を誇るコンピュータ横編機を製造・販売する当社のコア・ビジネス。一着丸ごと立体的に編み上げるホールガーメント®横編機、多彩な柄を表現できるSIG®シリーズ、コストパフォーマンスの高さを誇るNSSG®、SSR®など、独自の開発力を活かした豊富なラインアップを提供しています。

主力の中国市場では、生産性の高いコンピュータ横編機の需要が拡大し、前期に発売した「SSR」を中心に、第1四半期は売上が伸びました。しかし第2四半期に入ると、欧米アパレルからのニットの発注量が例年に比べて大幅に減少し、先行き不透明感の広がりや金融引き締め政策の影響も相まって、輸出型ニットメーカーを中心に受注が急速に減少しました。

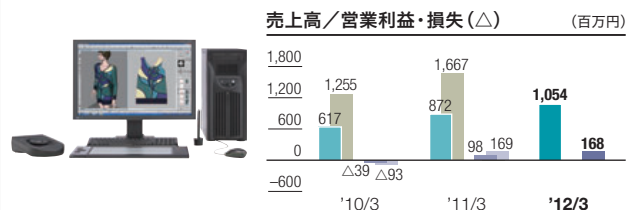
また、欧州、ロシア向けの生産拠点である中東のトルコやアジアの新興国などのニット生産地域においても、上半期の後半は設備投資の伸びが鈍化しました。さらに付加価値の高い消費地型生産の核となるホールガーメント横編機も、第1四半期にはイタリアを中心に売上が増加しましたが、第2四半期に入り減速しました。

これらの結果、横編機事業の売上高は194億92百万円（前年同期比9.1%減）となりました。

事業別売上高構成比



デザインシステム関連事業



ニット・アパレル業界のモノづくりを支援するデザインシステムを提供。バーチャルサンプルや3Dシミュレーションなどを駆使したワークフローにより労力・コストを大幅に削減。近年では異業種への展開も進めています。また、自動裁断機やプリントシステムなどの製造・販売も行っています。

デザインシステム関連事業では、ユーザー業界に密着した企画提案型営業を積極的に展開したことで、デザインシステム「SDS®-ONE APEX3」の販売が拡大しました。特にデザイン企画から製造まで一貫で手がける企業に向けて、幅広い可能性を持ったデザインツールとしての能力を訴求したことで、販売台数を伸ばしました。

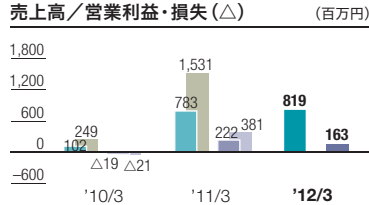
また国内市場においては、丸編み・テキスタイル・レースなどの異業種への拡販を進めたほか、自動裁断機「P-CAM®」（右ページコラム参照）も好調に売上を伸ばしました。

以上の結果、デザインシステム関連事業の売上高は10億54百万円（前年同期比20.9%増）となりました。

売上高(第2四半期累計) ■ (通期) ■ (前期)
 営業利益(第2四半期累計) ■ (通期) ■ (前期)



手袋靴下編機事業

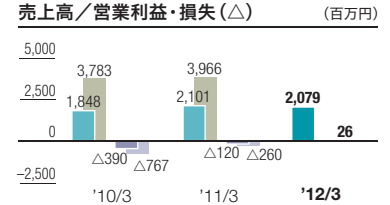


当社技術開発史の原点である手袋編機、靴下編機の製造・販売。ファインゲージ化などの高度技術を応用し、高付加価値分野への対応を強化しています。

手袋靴下編機事業では、当社製品の耐久性や最終製品の品質の安定性などが高く評価され、前期に引き続き、アジア新興国において設備投資が拡大しました。その結果、売上高は8億19百万円(前年同期比4.6%増)となりました。



その他事業



当社製品のメンテナンス部品の販売や修理・保守、高級カシミア糸の紡績、ニット製品の販売などの事業を行っています。

全体の売上高の減少に伴って、部品販売や修理・保守事業の売上は減ったものの、カシミア糸などの紡績事業やニット製品販売事業は堅調な推移となり、その他事業の売上高は20億79百万円(前期同期比1.1%減)となりました。



事業トピックス

愛知県で「自動裁断機」の個展を開催。自動車分野での新規開拓を推進。

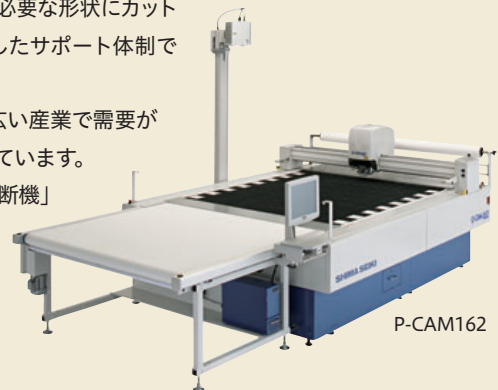
2011年9月、愛知県・刈谷市において「自動裁断機 P-CAMシリーズ」の個展を開催しました。

自動裁断機(NC裁断機)は布、革、ビニールなど多様なシート素材を数値制御で必要な形状にカットする装置です。当社は1991年にこの機器を発表して以来、高性能な製品と充実したサポート体制で業界での地位を高めてきました。

現在の販売先は縫製工場などのアパレル業界が中心ですが、自動裁断機は幅広い産業で需要があり、特に自動車分野ではシート・内装・マットなど多くの部材の裁断に使用されています。

愛知県での個展開催の目的は、自動車関連企業の多い同地で「シマセイキの自動裁断機」の認知度を高めることにあり、実際、多くのメーカーの方に来展いただきました。

これを足がかりに自動車分野でのさらなる開拓を進めるとともに、産業資材や家具など他分野についても、ユーザーニーズに合った積極的な営業活動を展開し、事業の拡大を図ってまいります。



P-CAM162



上海テックス 2011

シマセイキの「総合力」を示し、中国市場でのブランド力を強化



ブース入口では
創業50年を迎えるにあたり
当社の歩みを映像で紹介

「和」をテーマにした
高級感あるサンプル展示



ブース内でのファッションショーは
高い集客効果をあげた

「総合力の高さ」で現地メーカーと差別化

目覚ましい経済発展に伴ってファッションへの関心が高まる中国では、従来の先進国向け輸出に加え、国内向けのニット生産が拡大しています。その中で、横編機市場には現地機械メーカーが台頭し、競争が激化しています。

こうした市場環境において、6月14～17日に開かれた上海テックス出展の狙いは、「シマセイキ」の製品・サービス両面での優位性を中国の顧客企業に印象づけ、当社のブランド力をさらに高めていくこと。高効率性・安定性・耐久性などの製品性能はもちろん、当社ならではのデザイン提案力、サポート力といった「総合力」を示すことで、競合他社との差別化を明確にしました。

サンプル展示やファッションショーも実施

会場では、入口近くに最大面積のブースを構え、現地メーカーと一線を画したブースデザインで“世界のリーディングカンパニー”としての存在感を示しました。また、「和」をテーマにした斬新なニットサンプルの展示、ブース内でのファッションショー開催などを通じて、他社にはない高度な企画提案力をアピールしました。

製品展示では、“トータルファッションシステム”の核となるデザインシステム「SDS[®]-ONE APEX3」や、横編機のフルラインアップを出展したほか、ニットメーカーの実際の生産工程に沿って編成データを作成するデモンストレーションを実施しました。引き合いのあった顧客の半数以上が新規客先であり、一定の成果を得ることができたと言えます。また、人気を集めたSSR[®]以外にも多様な機種に来場者の関心が集まり、新しいモノづくりへの意欲を確認できました。

in Spain



ITMA 2011

世界の各地域・国のニーズに応じた「多様なソリューション」を提案

先進国ニット産業の“あるべき姿”を提示

「繊維機械のオリンピック」と呼ばれる世界最大の繊維機器展ITMA展が、9月22～29日の8日間、スペインのバルセロナで開催されました。

中国での人件費上昇などにより、世界のニット産業において「一極集中体制」が見直されています。一方で先進国市場では、魅力ある商品を生み出せる、新しい「消費地型生産」の形を確立するためのアイデアが求められています。

こうした状況を受け、当社は「多様性へのソリューション」をテーマに、新興国・先進国双方のニーズに応じたさまざまな提案を行いました。特に、ホールガーメント®横編機による付加価値向上、SDS-ONE APEX3による企画プロセスの革新など、先進国のニットメーカーが「企画提案型」の企業として生き残るための方向性を明確に提示しました。

企画段階からの「革新」をアピール

ブースでは新機種を含めた多数の製品を展示し、高度かつバラエティに富んだソリューションを提案しました。

3Dバーチャルシミュレーションに対応したSDS-ONE APEX3のコーナーでは、熟練技術者のノウハウを織り込んだ新開発のソフトによる制作を実演。さらにホールガーメント横編機との連動により、デザインシステムの真価がより発揮されることを強くアピールしました。

当社ブースへの来場者は、イタリアや地元スペインをはじめ、トルコ、インド、ブラジルなど、多様な国々にわたりました。特に世界初の21ゲージ横編機「SWG®-FIRST® 154」やラインアップが拡充されたMACH2® Xなどに注目が集まり、当初の予想を超える引き合いがありました。



当社ブースへの来場者数は
4,000人を上回った



デザインシステムでの
ビジネス革新を提案



新機種に高い関心が集まった



海外拠点からの手紙



PROFILE

ルイス・セイドル (Lusi Sedl)
カシアスドスル地区の代理店
BEST MALHAS LTDA. 代表



1



ブラジルの概要

面積：世界第5位
人口：世界第5位
国民総所得(GNI)：世界第8位
(出典：世界銀行「世界開発指標」2010年ほか)

From FEDERALATIVE REPUBLIC OF BRAZIL

第3回 From ブラジル

人口約2億人を擁するラテンアメリカ最大の国、ブラジル。ヨーロッパやアジア各国から多様な移民を受け入れてきたこの国には、サンバやカーニバルの他にも地域・街ごとに異なる多様な文化が存在します。

また、日本との関係が非常に深い国でもあります。明治以降、移民として渡った多くの日本人がコーヒー栽培などの農業発展に貢献し、現在では世界最大の日系人社会が形成されています。

FEDERATIVE REPUBLIC OF BRAZIL



目覚ましい経済成長の中で衣料品の国内需要が拡大

1980～90年代の経済破綻を乗り越え、近年のブラジル経済は農産物、工業製品、鉱物資源など各分野での輸出拡大を軸に力強い発展を続けています。中間所得層の増加によって国内消費も旺盛で、繊維・アパレル市場も活況を呈しています。

ブラジルのアパレル産業の大きな特徴は、国内産業の保護を目的として大部分の輸入衣料品に高い関税が課せられているため、他の新興国とは異なり、生産品のほぼ100%が国内で消費されているという点です。また、アパレルメーカーの多くが、自社で企画から製造、販売までを一貫して手がけています。

FEDERATIVE REPUBLIC OF BRAZIL



「シマセイキ」がトップシェアを確保 ホールガーメント[®]横編機の導入も増加

「暑いブラジルでニット製品が売れるのか?」と思われるかもしれませんが、BEST MALHAS社が位置する南部には冬期



※ ブラジルではSELL-MAC社(サンパウロ)とBEST MALHAS社(カシアスドスル)を通じた代理店販売を行っています。



2



3



- 1 コルコバードの丘のキリスト像
- 2 イグアスの滝
- 3 個展でファッションショーを開催
- 4 ブラジル最大の繊維機械展示会 FEBRATEx
- 5 BEST MALHAS社の社屋



4



5

FEDERATIVE REPUBLIC OF BRAZIL



技術力・サービス力のレベルアップでさらなる顧客満足を実現する

(7・8月)の平均気温が10度前後という冷涼な高地が広がっており、この地域を中心に多くの企業がニット衣料の生産を行っています。アイテムの主流は冬用のコースゲージ(編み目の粗い)のセーターですが、最近ではファッションを楽しみたい消費者も増え、ニットコートや高級感のあるファインゲージ(編み目の細かい)の衣料の需要も徐々に高まっています。

ブラジルでは、歴史的に手動式横編機での生産が行われてこなかったことから、多くのメーカーが最初からコンピュータ横編機を導入しています。中でも「シマセイキ」ブランドの人気は高く、過半数の市場シェアを獲得しており、当社の売上も年々伸びています。また最近では仕上がりの美しさや生産性の高さから、ホールガーメント横編機の導入企業も増えてきています。



2014年にサッカーワールドカップ、2016年にはオリンピックという世界的イベントを控えるブラジルでは、大規模なインフラ投資を背景に、当面は経済成長と内需拡大が続く見込みです。貿易政策の面から安価な外国製品の大量流入の可能性が低いこともあり、国内ニットメーカーの設備投資は旺盛な内需に応じてさらに拡大するものと予想されます。

こうした市場環境のもと、私たちは技術力・サービス力を一層、強化していく考えです。「顧客の細かなニーズをつかみ、企画・提案する」という基本スタンスで、より高い顧客満足を実現し、シマセイキとともに着実な成長を目指していきます。

連結財務諸表(要約)

連結貸借対照表

(単位:百万円)

科 目	当第2四半期末 2011年9月30日現在	前第2四半期末 2010年9月30日現在	前期末 2011年3月31日現在	科 目	当第2四半期末 2011年9月30日現在	前第2四半期末 2010年9月30日現在	前期末 2011年3月31日現在
流動資産	74,371	72,436	75,246	流動負債	22,288	18,902	19,228
現金及び預金	17,197	18,485	19,966	支払手形及び買掛金	8,347	5,609	7,046
受取手形及び売掛金	36,197	35,851	33,814	短期借入金	5,694	4,211	5,693
その他	23,372	20,708	23,960	1年内返済予定の長期借入金	3,000	1,000	—
貸倒引当金	△ 2,395	△ 2,609	△ 2,494	その他	5,245	8,081	6,487
固定資産	37,565	39,805	38,703	固定負債	5,184	6,568	8,131
有形固定資産	20,545	20,727	20,717	長期借入金	1,500	3,000	4,500
土地	10,978	10,996	10,999	その他	3,684	3,568	3,631
その他	9,566	9,731	9,717	負債合計	27,472	25,470	27,359
無形固定資産	5,015	6,151	5,553	株主資本	97,020	99,003	98,417
のれん	4,885	6,026	5,420	資本金	14,859	14,859	14,859
その他	129	125	132	資本剰余金	21,724	21,724	21,724
投資その他の資産	12,004	12,926	12,432	利益剰余金	66,838	68,819	68,234
投資有価証券	7,017	6,932	7,149	自己株式	△ 6,401	△ 6,399	△ 6,400
その他	6,390	8,109	7,130	その他の包括利益累計額	△ 12,676	△ 12,258	△ 11,900
貸倒引当金	△ 1,402	△ 2,115	△ 1,846	その他有価証券評価差額金	△ 523	△ 995	△ 456
資産合計	111,936	112,242	113,950	土地再評価差額金	△ 7,433	△ 7,433	△ 7,433
				為替換算調整勘定	△ 4,719	△ 3,829	△ 4,011
				新株予約権	108	15	62
				少数株主持分	11	11	11
				純資産合計	84,464	86,771	86,590
				負債純資産合計	111,936	112,242	113,950

連結損益計算書

(単位:百万円)

科 目	当第2四半期累計 2011年4月1日から 2011年9月30日まで	前第2四半期累計 2010年4月1日から 2010年9月30日まで	前期 2010年4月1日から 2011年3月31日まで
▶1 売上高	23,446	25,191	42,781
売上原価	14,329	13,659	23,586
売上総利益	9,116	11,532	19,194
販売費及び一般管理費	6,851	6,693	13,286
▶2 営業利益	2,264	4,838	5,907
営業外収益	564	385	721
営業外費用	3,864	3,938	3,790
▶3 経常利益・損失(△)	△ 1,034	1,285	2,838
特別利益	—	190	534
特別損失	185	835	2,280
税金等調整前 四半期(当期)純利益・損失(△)	△ 1,219	640	1,092
法人税、住民税及び事業税	253	464	591
法人税等調整額	△ 681	△ 573	△ 269
少数株主利益	0	0	0
四半期(当期)純利益・損失(△)	△ 791	749	769

POINT 1 売上高

世界的な景気減速の影響を受けて第2四半期以降、設備投資が停滞し、売上高は前年同期比6.9%減となりました。

POINT 2 営業利益

円高の影響や厳しい競争による販売単価の下落により、利益率が低下した結果、営業利益は前年同期比53.2%減となりました。

POINT 3 経常利益・損失(△)

急激な円高の進行により営業外費用で37億87百万円の為替差損が発生し、経常損失となりました。

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科 目	当第2四半期累計 2011年4月1日から 2011年9月30日まで	前第2四半期累計 2010年4月1日から 2010年9月30日まで	前期 2010年4月1日から 2011年3月31日まで
▶4 営業活動による キャッシュ・フロー	△ 1,664	841	3,503
▶5 投資活動による キャッシュ・フロー	755	△ 247	△ 1,834
▶6 財務活動による キャッシュ・フロー	△ 717	1,931	1,297
現金及び現金同等物に 係る換算差額	△ 1,190	△ 1,195	△ 1,206
現金及び現金同等物の 増減額(△は減少)	△ 2,816	1,329	1,760
現金及び現金同等物の 期首残高	18,077	16,317	16,317
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高	15,261	17,647	18,077

POINT 4 営業活動によるキャッシュ・フロー

売上債権の増加等により営業活動によるキャッシュ・フローは16億64百万円の資金の減少となりました。

POINT 5 投資活動によるキャッシュ・フロー

有価証券の売却等により投資活動によるキャッシュ・フローは7億55百万円の資金の増加となりました。

POINT 6 財務活動によるキャッシュ・フロー

配当金の支払等により財務活動によるキャッシュ・フローは7億17百万円の資金の減少となりました。

注) 詳細につきましては、当社ホームページをご覧ください。

会社概要

会社概要 (2011年9月30日現在)

商号	株式会社島精機製作所
(英文表記)	SHIMA SEIKI MFG., LTD.
本社	和歌山県和歌山市坂田85番地
創立	1962年2月4日
資本金	148億5,980万円
従業員数	1,200名(連結1,737名)
事業内容	コンピュータ横編機 コンピュータデザインシステム アパレルCAD/CAMシステム 手袋編機、靴下編機



本社・本社工場

事業所 (2011年9月30日現在)

支店、テクニカルサービスセンター (TSC)

東京支店	(東京都中央区)
東京 TSC 甲府	(山梨県中巨摩郡昭和町)
東京 TSC 太田	(群馬県太田市)
東日本支店	(新潟県五泉市)
東日本 TSC 山形	(山形県山形市)
東日本 TSC 福島	(福島県伊達市)
西日本支店	(大阪市北区)
西日本 TSC 名古屋	(名古屋市中区)
西日本 TSC 泉州	(大阪府泉大津市)
西日本 TSC 四国	(香川県東かがわ市)

海外支店 台北支店 (台北市)

工場 本社工場 (和歌山県和歌山市)

役員 (2011年9月30日現在)

地位	氏名	担当および重要な兼職
代表取締役社長	島 正博	営業本部長
専務取締役	田中 雅夫	内部監査室、物流部担当兼 管理本部長
専務取締役	島 三博	生産技術部、トータルデザイン センター担当兼生産本部長
常務取締役	和田 隆	システム生産技術部担当兼 製造技術部長
常務取締役	有北 礼治	開発本部長
取締役	梅田 郁人	島精機(香港)有限公司CEO
取締役	藤田 紀	総務人事部長
取締役	中嶋 利夫	国内営業部、経営企画部担当兼 海外営業部長
取締役	南木 隆	管理部担当兼経理財務部長
取締役	西谷 泰和	資材部長
常勤監査役	片桐 正二郎	
常勤監査役	植田 光紀	
監査役	的場 悠紀	弁護士
監査役	八杉 昌利	税理士

(注) 監査役 的場悠紀、八杉昌利の両氏は、社外監査役であります。

連結子会社 (2011年9月30日現在)

株式会社シマファインプレス	(和歌山県和歌山市)
ティーエスエム工業株式会社	(和歌山県和歌山市)
株式会社海南精密	(和歌山県海南市)
東洋紡糸工業株式会社	(大阪府泉北郡忠岡町)
株式会社ツカダシマセイキ	(群馬県太田市)
SHIMA SEIKI EUROPE LTD.	(イギリス)
SHIMA SEIKI U.S.A. INC.	(アメリカ)
島精機(香港)有限公司	(中国)
(SHIMA SEIKI (HONG KONG) LTD.)	
SHIMA SEIKI ITALIA S.p.A.	(イタリア)
島精榮榮(上海)貿易有限公司	(中国)
(SHIMA SEIKI WIN WIN SHANGHAI LTD.)	
SHIMA SEIKI SPAIN, S.A.U.	(スペイン)
東莞島榮貿易有限公司	(中国)
(SHIMA SEIKI WIN WIN DONGGUAN LTD.)	
SHIMA SEIKI (THAILAND) CO., LTD.	(タイ)

株式概要

株式の状況 (2011年9月30日現在)

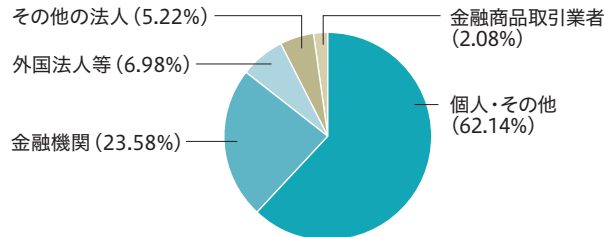
- ① 発行可能株式総数…………… 142,000,000株
- ② 発行済株式の総数…………… 36,600,000株
- ③ 株主数…………… 19,558名
- ④ 大株主

(千株未満切捨て)

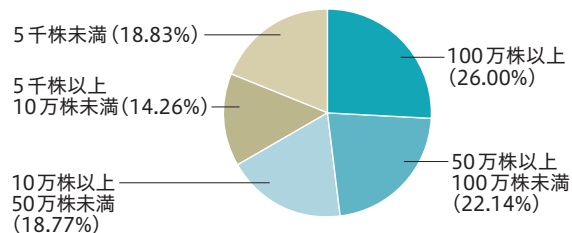
株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
島 正 博	3,670	10.61
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社(信託口)	1,450	4.20
株式会社紀陽銀行	1,310	3.79
島 三 博	1,060	3.07
株式会社三菱東京UFJ銀行	880	2.55
和島興産株式会社	850	2.46
合同会社和光	765	2.21
シマセイキ社員持株会	764	2.21
株式会社池田泉州銀行	700	2.02
後藤ひろみ	697	2.02

(注)当社は、自己株式2,025千株を保有していますが、上記大株主から除外しています。
持株比率は、自己株式を控除して計算しています。

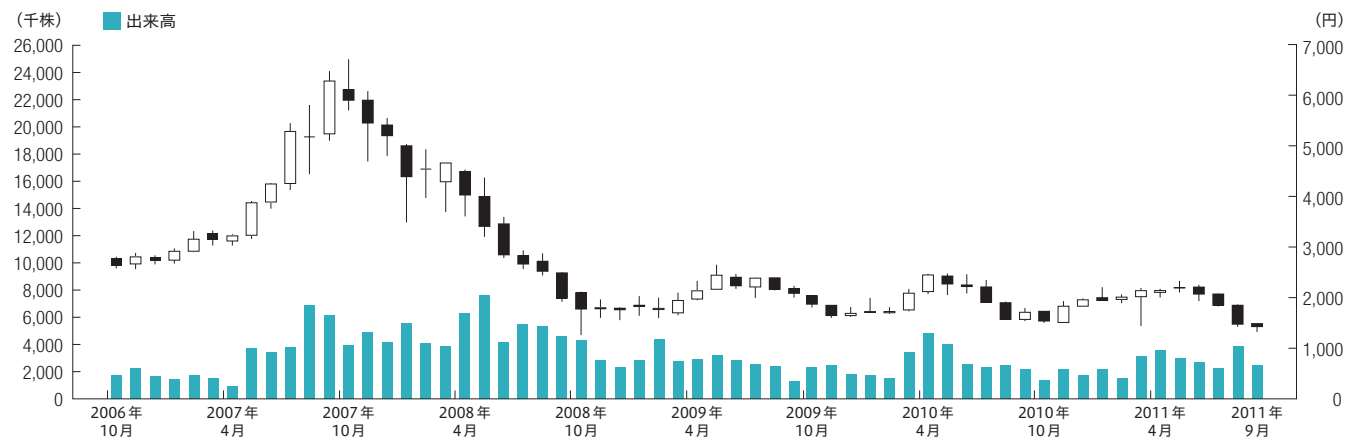
所有者別分布



所有数別分布



株価と出来高の推移 (過去5年間)



株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで		
定時株主総会	基準日	3月31日	
	開催日	毎年6月	
配当金受領株主確定日	期末配当金	3月31日	
	中間配当金	9月30日	
公告方法	電子公告		
	下記当社ホームページに掲載 (http://www.shimaseiki.co.jp/irj/irj.html) ただし、事故その他やむを得ない事由によって 電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載		

株主名簿管理人
特別口座の口座管理機関

三菱UFJ信託銀行株式会社

同連絡先

三菱UFJ信託銀行株式会社
大阪証券代行部
〒541-8502
大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
TEL 0120-094-777 (通話料無料)

(ご注意)

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっておりますので、口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店にでもお取り次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。



株式会社島精機製作所

〒641-8511 和歌山市坂田85番地

TEL (073) 471-0511 (代表)

<http://www.shimaseiki.co.jp/>

FIRST、MACH2、NSSG、P-CAM、SDS、
SIG、SSR、SWGおよびホールゲームントは
株式会社島精機製作所の登録商標です。

「オーダーニット」の専門店が 日本橋高島屋にオープン

9月1日、当社直営のオーダーニット専門店「Isola Bella (イゾラベラ)」が東京・日本橋の高島屋4階にオープンしました。各地で開催しているオーダーニットのフェアの好評を受けて、いつでも気軽にお立ち寄りいただける常設店舗を開設したものです。

百貨店の店舗としては国内初のオーダーニット専門店となる同店では、専門スタッフが採寸し、お客様一人ひとりにフィットするホールゲームント®製品をお作りいたします。コート、カーディガン、ブルオーバー、スカートなど豊富なアイテムを、シーズンごとに用意した多彩なデザインからお選びいただけます。お客様からは「自分のサイズにぴったりのニットがいつでも購入できる」と高い評価をいただいております。

皆様のご来店をお待ちしております。



イゾラベラの店舗



商品例



日本橋高島屋 4階 デザイナーズワールド

TEL (03) 3211-4111

JR東京駅から徒歩5分

この報告書は環境にやさしいベジタブルインキを使用しています。